

●症例3 アタッチメントデンチャーの適合比較/症例提供・服部理志先生(東京都渋谷区・こえめまビル歯科)



図9-1, 2 従来型模型で制作したクラウン



図9-3 シリコンで口腔内をピックアップ印象



図9-4, 5 従来型ピックアップ模型



図9-6 サイザー分割模型

図9-7 サイザーピックアップ模型

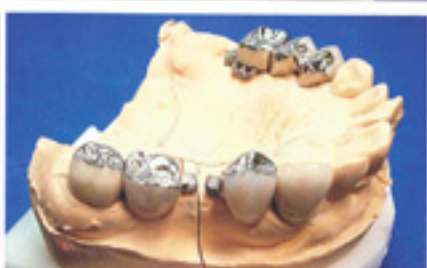


図9-8, 9 フィメール部位の制作を行う。咬合高径が低いため、咬合面はメタルバックタイプとする



図9-10 メタルプレート製作後、レーザー溶接する

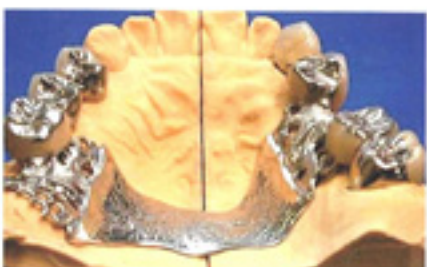


図9-11 サイザー模型上で制作されたフレームワーク

図9-12 サイザー模型上での適合状態

正装置の役割をして、時間が経てば適合していく、
適合しないケース

・歯に動揺が少ないケースや、特に鉤歯がブリッジや長い連結冠の場合は、天然歯といえども歯牙は移動せず、ピッチングなどが起こる。

2. 天然歯クラウンの場合 適合するケース

・クラウン単冠は、外側性なので逆に膨張することで適合する。
・連冠やブリッジなどで、ペリオやその他の理由

図9-13 サイザー模型上で完成した義歯



図9-14 義歯装着時の顔貌



図9-15, 16 左右側方面観

図9-17 口蓋面観, サイザー模型上と同じ状態で適合が得られている

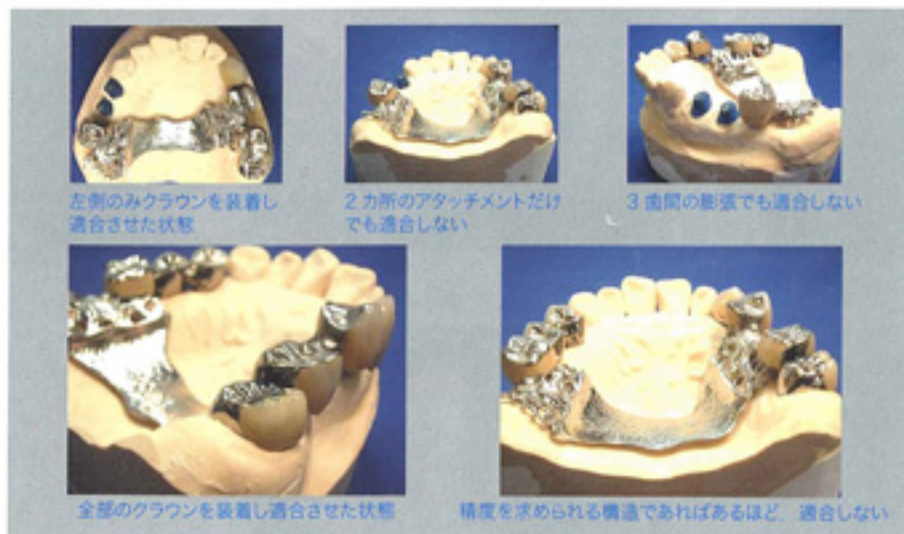


図9-18 サイザー模型上で製作されたフレームワークを従来型模型に装着すると、適合が得られない

で動揺がある場合、補綴物に合わせて、歯牙が移動して適合している。

適合しないケース

・歯に動揺が少なく、ロングスパンブリッジなどのケースでは、入りきらずに、マージンが足らなかったり、バイトが高くなったりする。

・支台歯にテーバーが付きすぎ、維持がない場合には、歯が移動する以前にピッチングする。

3. インプラントの場合

インプラントには天然歯のように歯根膜がないため、より高い精度が求められる。

適合するケース

・インプラント単独の場合、もしくは少数歯連結でセメント固定の場合（ルーズフィット）。

・トランスファー法により、口腔内でインプラント間を正確に固定して、印象している場合

適合しないケース

・通常の模型では適合しない。そのため、口腔内でカットして銀着などを繰り返すことになる。

症例3/アタッチメントデンチャーの適合比較 (図9)

症例：76|456 欠損